



日野自動車 『ジャパントラックショー2026』に出展

〈開催期間〉5月14日(木)～16日(土)
〈会場〉神奈川県横浜市 パシフィコ横浜
〈主催〉一般社団法人 国際物流総合研究所

トラック関連業界、日本最大の展示会『ジャパントラックショー2026』が神奈川県のパシフィコ横浜で開催されました。

今回の展示会テーマは「持続可能なミライの物流」。日野ブースでは、社会課題解決に貢献する最新車両の実車展示を行いました。国内初の燃料電池大型トラック量産モデル「日野プロフィア Z FCV」のほか、後退誤発進抑制機能の標準装備で安全性が向上した「日野デュトロ」や、新たにAMTを採用し、力強さとイーजीドライブを両立したダンプ車「日野プロフィア」を披露。さらに、超低床構造の小型BEV(電気自動車)トラック「日野デュトロ Z EV」は、モバイルオフィス仕様で登場し、注目の的。多くの来場者の皆さまに、日野が目指す次世代のソリューションを体感してもらえる貴重な機会となりました。



安全性・環境性・快適性を追求したトラックを展示。連日賑わいを見せました。



「E13Cエンジン」を搭載したダンプ車に、新たにAMTを採用。運転操作の負担を軽減し、日々の安全運行に貢献します。



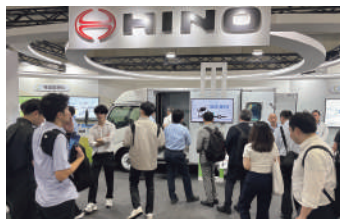
日野自動車 『人とするまのテクノロジー展2026』に出展

〈開催期間〉横浜:5月27日(水)～29日(金)
名古屋:6月17日(水)～19日(金)
〈会場〉横浜:神奈川県横浜市 パシフィコ横浜
名古屋:愛知県常滑市 Aichi Sky Expo
〈主催〉公益社団法人 自動車技術会

自動車の最新技術・製品などが一堂に展示される『人とするまのテクノロジー展2026』が、横浜と名古屋の両会場で開催されました。

同イベントにおいて日野自動車は、省燃費走行を可能にする大型トラック用新トランスミッション「M112」(Pro Shift12)のカットモデルを初公開したほか、小型BEVトラック「日野デュトロ Z EV」を出展。また名古屋会場では、カーボンニュートラルと水素社会の普及に貢献する「日野プロフィア Z FCV」および小型BEVコンセプトカー「ポンチョドット」を展示。さらに両会場において、各種ソリューションサービスを通じた物流効率化の取り組みを中心に紹介しました。

「豊かで住みよい世界と未来」の実現に向け、物流における効率化やカーボンニュートラル、安全性の向上といったお客様の困りごとと社会課題の解決に取り組む姿勢をアピールし、多くの来場者の関心を集めました。



日野ブースでは、環境対策や物流効率化の取り組みを中心に先進技術を紹介しました。



初公開で注目を集めた、新トランスミッション「M112」。